

白バラよこはま

No.41

平成23年1月発行

編集・発行

横浜市明るい選挙推進協議会
横浜市中区港町1-1 ☎045(671)3335

▶ 選挙時啓発（横浜駅西口前にて） 西区



◀ 港北ふれあいまつりでの明推協ブース 港北区



▶ 中学校生徒会選挙での様子 中区



◀ 明るい選挙推進大会 都筑区



目次

推進委員・推進員の心得、三ない運動	2
明推協推進員等意識調査から	3
各区今年度の事業から	5
横浜市今年度の事業から	23
リーダー研修会報告	25
参議院選挙等の区別投票率	26
各選挙における投票率	27
選管ホームページの紹介	28



横浜市の
選挙のマスコット
イコットちゃん

明るい選挙推進協議会推進委員・推進員の心得

～活動をしていく上での諸注意～

明るい選挙推進運動の目的は、選挙が公正に行われ、選挙を私たち国民の意見を確かに政治に反映させるものにし、民主主義の健全な発展を達成することです。

ここでは、明るい選挙推進運動を担う推進委員、推進員のみなさんが活動をしていく上で注意すべき事例について紹介します。

明るい選挙推進運動は、選挙を浄化するためにはじまったひとつの政治教育運動です。

したがって、特定の政党、政策、候補者を支持したり逆にそれらに反対したりする政治活動や選挙運動とははっきり区別されなければなりません。

次のような例はよく聞かれる質問です。

Q：特定の候補者の選挙運動員をしながら、その選挙の街頭啓発「ザ・イコット」に参加してもよいですか。

A：好ましくありません。明るい選挙推進運動は公平な第三者の立場で行う運動です。特定の候補者のための選挙運動をしながら、その選挙時の啓発活動に参加することは差し控えましょう。

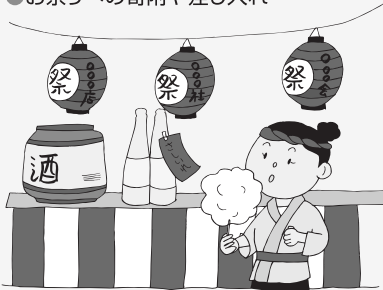
Q：某候補は、明るい選挙推進運動の主旨を理解し、これに沿った選挙運動をしている人格者。明るい選挙推進員を続けながら、このような候補者がいることをこの候補者の推薦人になって知らせたいのですが。

A：明るい選挙推進員としての活動は、公正かつ不偏不党でなければなりません。どんなに高潔な方であっても特定の候補者の推薦人になることは避けましょう。

Q：投票日の午後になって、純粋な立場で「投票に行きましたか」と近所の家を回り、まだ行っていない人に投票に行くよう言って歩きたいのですが。

A：選挙のとき、個人的に啓発活動を行うことは、現行法上種々の誤解を生む恐れがあります。明るい選挙推進協議会では選挙時に街頭啓発を実施していますので、推進員はそちらに参加しましょう。

- 町内会などの集会への飲食代や品物の差し入れ
- お祭りへの寄附や差し入れ



- お中元やお歳暮などちょっとしたおみやげ



- 「贈らない」「求めない」「受けとらない」の三ない運動



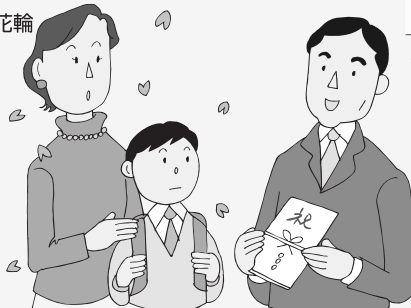
**政治家の寄附は禁止
有権者の寄附要求も禁止**

政治家が選挙区内にあるものに対して、ここに紹介されたようなことをすると処罰されます。

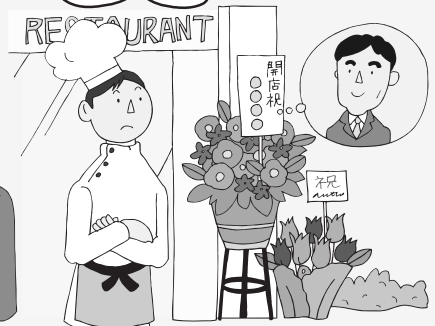
- 秘書などが代理で出席するお葬式の香典や花輪



- 地域の運動会やスポーツ大会への差し入れ



- 出産、入学、卒業、就職などの祝い金や品物

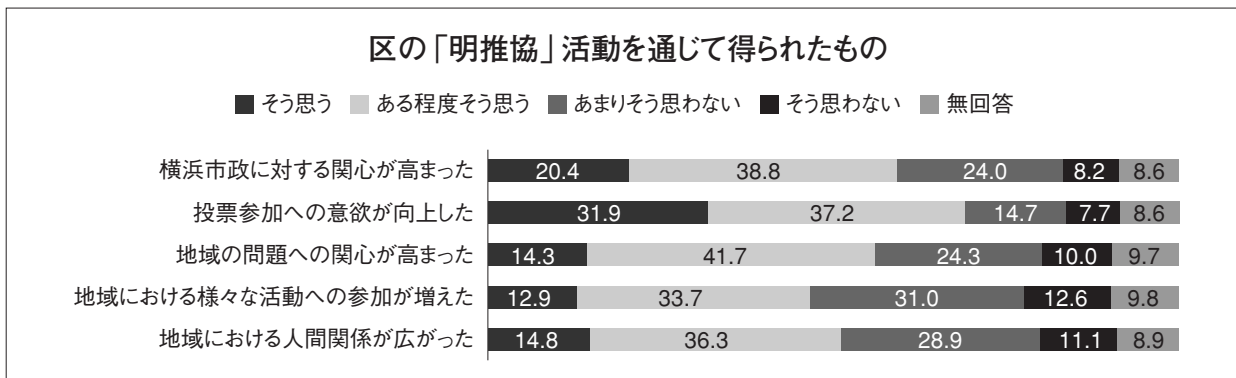


- 開店祝いなどの花輪や祝い金

～「明推協推進員等意識調査」結果の分析(抜粋)～

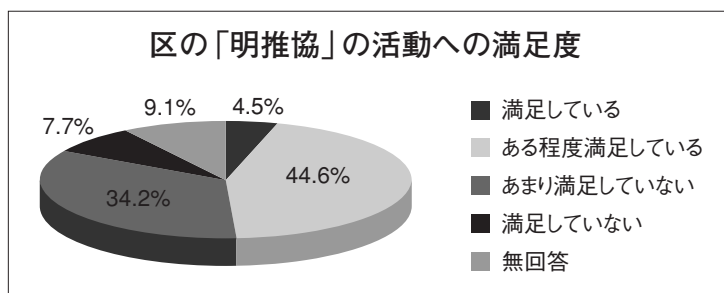
1. 明推協活動を通じて得られたもの

「投票参加意欲の向上」が最も高く(69.1%)、次いで「横浜市政に対する関心が高まった」(59.2%)、「地域の問題への関心が高まった」(56%)が続いた。また、回答者の約半数が「地域における人間関係が広がった」(51.1%)、「地域における様々な活動への参加が増えた」(46.6%)と回答した。



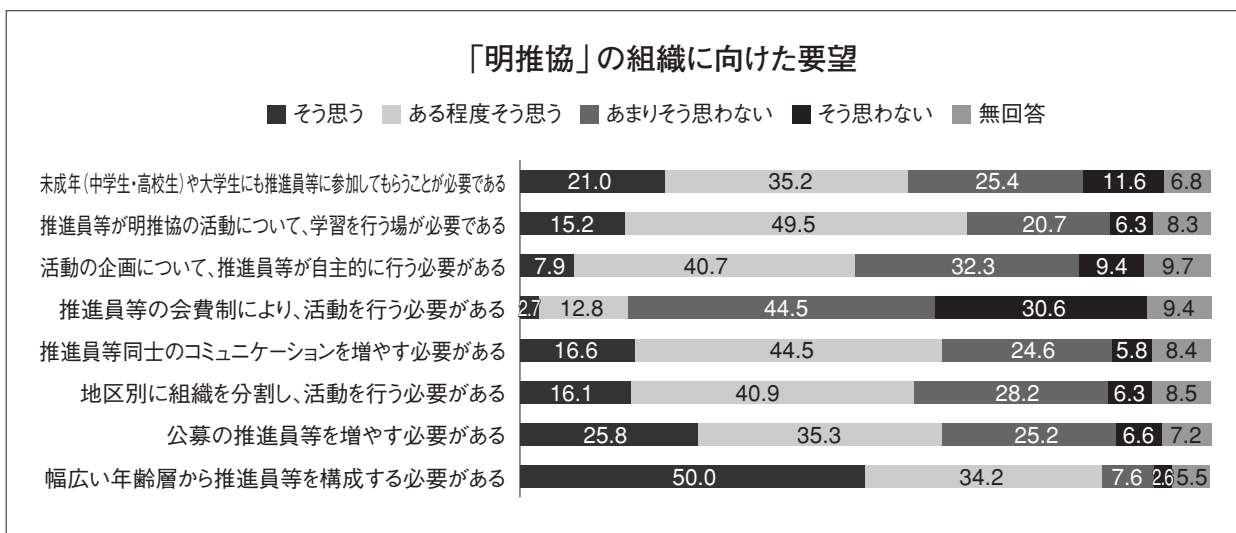
2. 区の「明推協」活動に対する満足度

各区の「明推協」活動に対する満足度を尋ねたところ、肯定的な回答(「満足している」「ある程度満足している」)が49.1%である一方、否定的な回答(「満足していない」「あまり満足していない」)も41.9%存在していた。



3. 「明推協」の組織に対する要望

「明推協」について、投票率向上等に向けどのような手法が良いと考えているかを尋ねた。

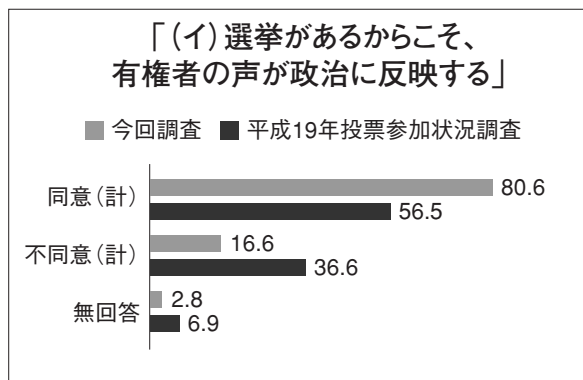
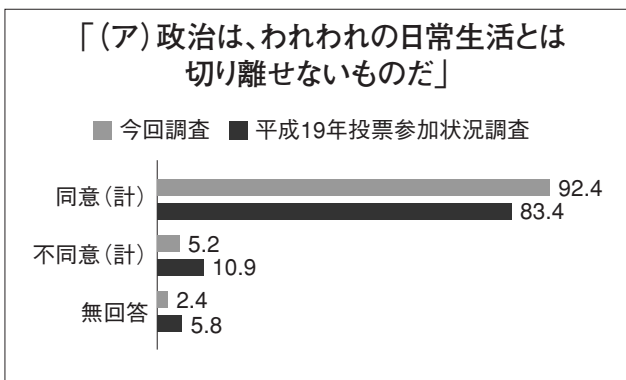


その結果、「幅広い年齢層で推進員等を構成する必要がある」との回答が最も多かった(84.2%)。次いで「推進員等が明推協の活動について学習を行う場が必要である」(64.7%)、「推進員等同士のコミュニケーションを増やす必要がある」(61.1%)、「公募の推進員等を増やす必要がある」(61.1%)、「地区別に組織を分割し、活動を行う必要がある」(57%)、「未成年や大学生にも推進員等に参加してもらう必要がある」(56.2%)との回答であった。

全体として、推進員等の年齢構成や選出方法等、構成に関する要望を持つ回答者や、推進員等同士の学習の場、コミュニケーションの促進、地区別組織による活動の必要性等、組織・関係性に関する要望を持つ回答者が過半数以上存在することが判明した。

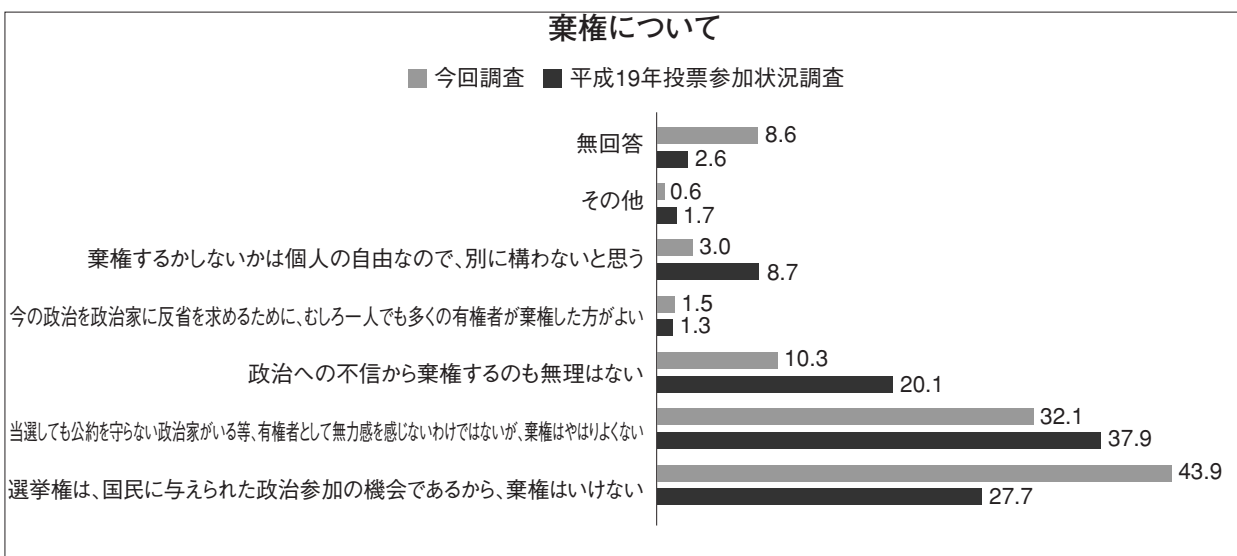
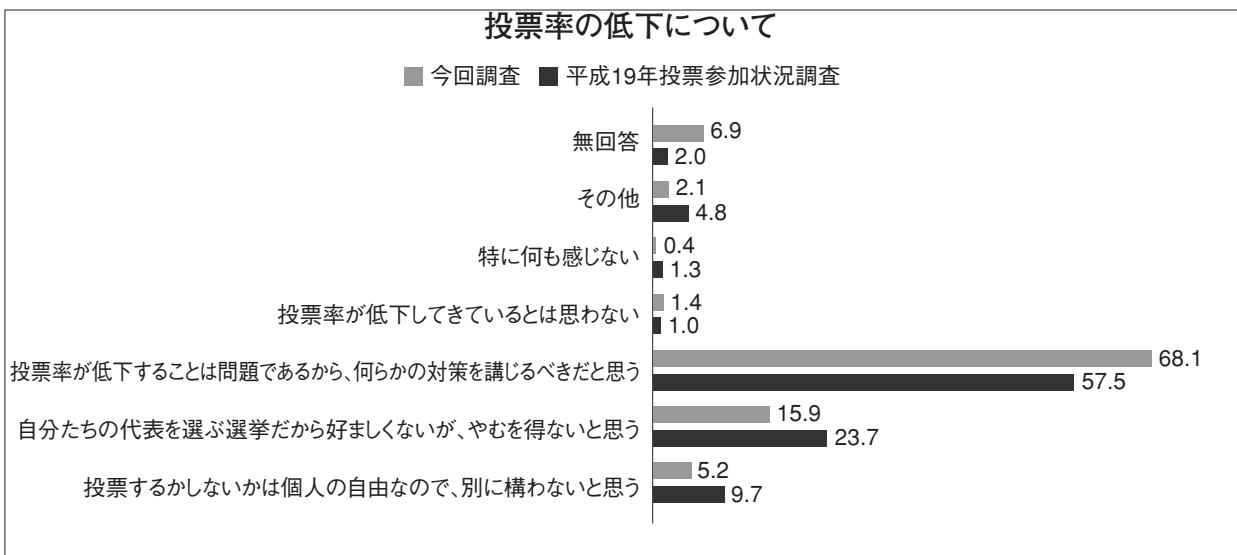
4. 政治・選挙に対する意識

横浜市の有権者に対する調査(『平成19年投票参加状況調査』)と比較すると、今回調査対象者の政治ならびに選挙の重要性に対する認識が一般有権者より高いことが見て取れる。



5. 投票率の低下ならびに棄権に対する意識

横浜市の有権者に対する調査(『平成19年投票参加状況調査』)と比較すると、今回調査対象者の方が、投票率低下をより危惧し、何らかの対策を講じるべきとしており、また棄権については好ましくないとする回答が多いことが判明した。



各区今年度の事業から

鶴見区

▼ 明るい選挙推進大会 熱心に耳を傾ける推進員たち



▲ つるみ臨海フェスティバルに出店！ 今年も大盛況

今年度は、推進員の改選の年となりました。5月22日に開催した明るい選挙推進大会・推進員会議では、委嘱式と今後の活動に向けた決議文採択を行うことで、推進員としての意識向上を図りました。また、本大会では講演会を実施し、多くの推進員のモチベーションを上げることができました。さらに、より自発的な啓発活動を行えるよう、各地区より代表者を選出しました。

その後、6月中旬からは、参議院選挙に向けた取組について検討を重ね、推進員が中心となって街頭啓発の実施計画を作成しました。この計画に基づき、7月には投票日の一週間前から、区内の延べ32箇所、各地区の実状に応じた街頭啓発を実施し、明るい選挙推進協議会関係者244名に加え、地元の水産会が参加しました。

その他にも、「鶴見川花火大会」への協賛、中学校生徒音楽会の後援、つるみ臨海フェスティバルに参加しての協議会のPR、推進委員・推進員あて「イコットNEWS」の発刊、小・中学校への「投票器材の貸出」等、様々な活動を実施しました。いずれの事業も、各団体等より好評をいただいています。

今後とも「投票率の向上」と「不正のないきれいな選挙」の実現のため、より一層活発な啓発活動に取り組んでいきます。

● 常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
5月	推進委員総会(第1回)	21年度の事業報告を行うとともに、22年度の事業計画を審議した。
	明るい選挙推進大会・推進員会議	第1部に明るい選挙推進大会、第2部に推進員会議と、2部構成で開催した。第1部では、推進員委嘱式・大会決議文の採択等を行った。第2部では、推進員向けに講演会を開催した。
8月	鶴見川花火大会	鶴見川花火大会に協賛し、プログラムに選挙啓発文を掲載することにより、明るい選挙推進協議会のPRを行った。
10月	中学校生徒音楽会	区内の中学校生徒が参加する音楽会の会場で、明るい選挙推進協議会のPRを行うとともに、選挙啓発文を掲載したプログラムを配布し、将来の有権者への動機付けを図った。
	つるみ臨海フェスティバル	ブースを出店し、似顔絵コーナーを開催した。また、似顔絵の台紙に選挙啓発文を掲載することにより、明るい選挙推進協議会のPRを行った。
2月	推進員スキルアップ講座(予定)	推進員としてのさらなる意識の向上及び推進活動を進めていくにあたって、必要と思われる知識等の習得を図るため、鶴見川流域センターを見学する。また、見学の感想を踏まえ、推進員間で協議会活動について意見交換を行う。
	せんきょフォーラム(予定)	選挙啓発と学習機会の提供を目的として、講師を招き、区内中学校で選

開催月	事業名	事業内容
	推進委員総会(第2回)	挙に関する講演会を開催する。また、講演内容を踏まえ、将来の有権者に政治参加の動機付けを図るため、模擬投票を実施する。
随時	イコットNEWS発行	協議会の機関紙として、実施事業の広報や選挙結果の報告を中心に掲載、発行する。
	投票器材の貸出	区内の小・中学校に投票器材を貸し出し、将来の有権者への動機付けを図る。

● 選挙時啓発事業

選挙名	事業名	事業内容
参院選	街頭啓発「ザ・イコット」	各地区の推進員が作成した計画を元に、駅前、スーパー前、商店街など、延べ32箇所街頭啓発を実施。延べ244名の明るい選挙推進協議会関係者が参加した。

神奈川区

神奈川区明るい選挙推進協議会では、明るくきれいな選挙の実現と投票参加の促進を目指して啓発活動を行っています。

まず、10月に、神奈川工業高校文化祭で「選挙啓発ブース」の展示を行いました。選挙に関するクイズの出題、模擬投票、啓発パネルの展示、啓発物品の配布を行い、将来の有権者に対する投票参加の呼びかけを行いました。

次に、11月には、神奈川中学校からの依頼を受け、模擬投票と投票事務の体験授業を行いました。普段は投票に参加できない将来の有権者である子どもたちに投票参加の大切さをPRすることができました。

12月と1月には、神奈川中学校および栗田谷中学校の生徒を対象に「せんきょフォーラム」を開催しました。講師をお招きし、選挙の大切さをテーマとした講演会を行い、投票参加の呼びかけを行いました。

その他の若年層に向けた啓発事業として、区内小中学校を対象に生徒会選挙の手引きを送付するとともに、選挙器材の貸出も実施しています。

選挙時啓発では、街頭啓発として、参院選において、六角橋商店街、六角橋交差点でティッシュの配布を行い、区民に対して投票参加を呼びかけました。

今後も明るくきれいな選挙の実現のため、各種活動に積極的に取り組んでいきます。

▼ 神奈川区せんきょフォーラム



▲ 神奈川工業高校文化祭出展ブース

● 常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
5月	神奈川区明るい選挙推進協議会委員会(定例会)の開催	平成21年度の事業実績報告及び平成22年度の事業計画を決定。
9月～2月	投票器材の貸出	区内小中高等学校の生徒会等の選挙用に選挙器材を貸出(利用時期:10月～2月、利用校:中学校7校、高等学校1校)。
10月	神奈川工業高校文化祭「選挙啓発ブース」の出展	模擬投票、啓発パネル等の展示、選挙に関するクイズの実施、啓発物品の配布。
11月	神奈川中学開催「職業体験授業」参加	模擬投票と開票事務体験授業の実施。
12月、1月	せんきょフォーラム	講師に落語家の林家うん平氏をお招きし、「明るい一票 うれしい未来」をテーマに講演会を実施。

● 選挙時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
参院選	街頭啓発「ザ・イコット」	六角橋商店街、六角橋交差点の計2か所で啓発物品を配布。
	区役所内啓発	区役所内に啓発懸垂幕を設置。区役所内の各職場窓口で啓発物品を配布。
	自治会町内会を経由した啓発	各自治会町内会の掲示板に啓発ポスターを掲示。



▲ 神奈川中学校職業体験授業

西 区



▲ 選挙時啓発 (横浜駅西口前にて)

西区では、明るくきれいな選挙の実現と、より一層の投票参加を推進するために、各種啓発活動を実施しています。

10月の「西区民まつり」では、例年お子様に大人気だった選挙マスコットのイコットJr.との撮影会、選挙クイズ大会を実施する予定でしたが、今年度は台風の影響で中止という非常に残念な結果となってしまいました。その分、他の啓発活動において挽回できるように、例年以上に啓発に力を入れています。

若年層向けの啓発活動としては、区内中学校の生徒会選挙において投票器材の貸出しを行い、12月までに3校に貸出しを行いました。また、2月には区内中学校において「せんきょフォーラム」を開催し、近い将来有権者となる中学生に、政治への関心を高めてもらうため、選挙の出前授業と模擬選挙を実施する予定です。

2月には「明るい選挙推進大会」を開催します。統一地方選挙での委員・推進員の意識高揚並びに連帯を深め、18区内の投票率1位を目指して啓発活動に奮闘します。

3月には、若いファミリー層への選挙啓発活動の一環で、子どもと一緒に参加できる「明るい選挙映画会」を開催します。今年度は、西区民まつりでできなかった、イコットJr.との撮影会も行います。

● 常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
6月	定例会	前年度の事業実績、決算の報告、及び当該年度の事業計画案、予算案の審議を行った。
10月	西区民まつり	選挙マスコットであるイコットJr.との記念撮影や、せんきょクイズを実施して、選挙のPRを図る。 ※今年度は台風の影響で中止となった。
平成23年 2月	西区明るい選挙推進大会	推進委員・推進員の意識高揚並びに連帯を深めるため開催し、明推協の活動報告を行う。 また、講演を行い、選挙への参加意識の向上を図る。
	機関紙「明推協だより」の発行	推進委員・推進員への情報提供を目的とした機関紙を発行する。
	西区せんきょフォーラム	将来有権者となる中学生に、模擬選挙を通じて、一人の有権者として選挙の意義を認識し、投票に対する意識を高めてもらうことをねらいとして開催する。
3月	明るい選挙映画会	大人も子供も楽しめる映画を上映すると共に、啓発パネル展や啓発物品配布を行い、保護者への選挙啓発を行う。
通年	明るくきれいな選挙の普及事業	標語入りの啓発物品を作成し、西区民まつりや映画会等で配布する。
	学校の生徒会選挙等での実践啓発	区内の中学校生徒会選挙に際して、投票器材を貸出す。

● 選挙時啓発事業

選挙名	事業名	事業内容
参院選	「ザ・イコット」	日時：7月2日(金)～7月4日(日) 場所：横浜駅前、松原商店街など7か所 参加者：110人 内容：プラカード、のぼり旗、ハンドマイク等を使用して、投票参加を呼びかけた。また、啓発物品(野菜の種、ポケットティッシュ)を配布した。



▲ 啓発物品 (野菜の種)

中 区

中区明るい選挙推進協議会は、幅広い世代の選挙参加を常に念頭に置きながら、今年度は特に若年層への働きかけを重視した啓発活動を行ってきました。

市内でも有数の観光名所をもつ中区では、今年も大規模イベントが多く開催され、中区明推協は日本大通で6月に開催された、「tvk秋じゃないけど収穫祭」や10月開催の「中区民まつりハローよこはま」といった様々なイベントに参加し、多くの参加者に選挙について考えてもらう、触れてもらう機会を設けることが出来ました。

また、将来の有権者である中区在学の小・中学生を対象に、本年度で30回目を迎える「明るい選挙推進作文コンクール」を実施しました。今年の応募数は、477通となり、入賞者は広報よこはま・なか区版などで発表し、優秀作品は中区ホームページに掲載します。

その他常時啓発についても、中学校の出前講座や高校文化祭への参加など、更なる事業内容の充実化を図りました。

▼ 中区民まつりハローよこはままでの様子



▲ 中学校生徒会選挙での様子

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
6月	「tvk秋じゃないけど収穫祭」へのブース出展	テレビ神奈川 (tvk) 主催の「神奈川の地産地消」応援を目的で2007年にスタートしたイベントです。6月5日に約12万人が来場した会場で「マスコット人気投票 in 収穫祭」と題して、中区や横浜市、明推協の人気マスコットキャラクターの模擬投票を行い、約400人の方に参加していただきました。
7月	高校文化祭への参加	7月3日に開催された横浜市立みなと総合高等学校「2010年みなと総祭」にブースを出展しました。選挙に関するパネルを掲示したコーナーで模擬投票を行いました。参加してくれた生徒さんには明推協マスコットキャラクター「めいすいくん」との記念撮影コーナーも設け、大盛況に終わりました。
9月	せんきょフォーラム	9月28日に横浜市立本牧中学校の生徒会選挙に伺い、選挙啓発活動として出前授業を実施しました。「選ぶことの大切さ」をテーマに「選ぶこと」＝「投票」の重要性と意義について、生徒会選挙という機会に併せて生徒たちに講演を行いました。
10月	中区民まつりハローよこはまへのブース出展	10月11日に日本大通で開催されました。「マスコット選挙!! inハローよこはま2010」と題して、中区や横浜市、明推協のマスコットキャラクターに加え、横浜市の外郭団体や民間企業、プロスポーツチームのイメージキャラクターの模擬投票を行い、約800人の方に参加していただきました。
12月	せんきょフォーラム	12月24日に横浜市立みなと総合高校の生徒会選挙に伺い、選挙啓発活動として出前授業を実施しました。講師を元国際選

開催月	事業名	事業内容
通年	イコット通信発行	拳監視要員の倉石裕子先生にお願ひし、海外での活動を通して、直接目にした各国の実情を選挙時のスライドを使って紹介していただきました。
	作文コンクール	次代の有権者である小中学生を対象に、選挙や政治・社会について関心を持ってもらうことを目的として、作文コンクールを実施しました。今年度で30回目となる本事業は、477通の応募がありました。
年間	投票機材貸出	区内企業・事業所・学校等へ実際使用する投票機材の貸出をする等で、投票を身近に感じてもらいます。

●選挙時啓発事業

選挙名	事業名	事業内容
参院選		今回の選挙啓発は本牧地区と伊勢佐木地区で、午前午後の二部に分けて街頭での選挙時啓発用ティッシュの配布、投票への呼びかけを行いました。当日は、選挙管理委員、推進委員及び推進員約80名が参加しました。

南区

南区明るい選挙推進協議会は、南区選挙管理委員会と連携し、「きれいな選挙」「積極的な投票参加」の実現を目指し、啓発活動を行っています。

例えば毎年、南区の夏の風物詩である「南まつり」において、選挙ブースを出展し、クイズコーナーを運営しています。また「ボイス・オブ・ユース(青年の主張)」、「南区文化祭」、南区の春の一大イベントである「桜まつり」にも協賛して、パンフレットやポスター等に啓発標語などを掲載し、小学生から有権者の方まで幅広く呼びかけを行っています。

公会堂を利用した事業として、8月に「南区明るい選挙映画会」を開催しており、アニメ映画を上映し、会場には選挙で実際に使用される投票箱や記載台を設置しアンケートを行いました。また、明推協だよりも年3回発行しています。

さらに、中学校の生徒会選挙が実施される際に、選挙器材の貸し出しを行い、実際に行われる選挙に近い生徒会選挙を中学生に体験してもらいました。

また、南区明るい選挙推進協議会のマスコットキャラクターの「まねっぎー」が掲載されたポケットカレンダーを作成、配布しています。

2月には南区明るい選挙推進大会を実施する予定です。南区明るい選挙推進大会では、推進員の皆さんが一同に集い、「きれいな選挙」「積極的な投票参加」の実現へむけた啓発活動を展開することを確認する契機としています。

また、同じく2月に実施する選挙フォーラムでは、高校生、中学生、明るい選挙推進員の方を対象に啓発講演会を行う予定です。



▲映画会の様子

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
6月、10月、2月	明推協だより	明推協の事業内容や活動報告を機関誌にまとめ、推進委員及び推進員などに年3回発行。
7月	南まつり	選挙ブースを出展、啓発パネルから答えを導く選挙クイズを実施し、正解者に啓発物品を贈呈。
8月	明るい選挙映画会	若年層啓発を目的に、親子映画会を開催。「アイス・エイジ3(ティラノのおとしもの)」上映。
10月、11月	ボイス・オブ・ユース南区文化祭	南区恒例の文化行事に協賛し、配布物に啓発標語等を掲載。
12月	“まねっぎー”クリーン選挙PR事業	当協議会のマスコット“まねっぎー”と標語入りのポケットカレンダーを作成し、広く区民にきれいな選挙と積極的な投票参加を呼びかける。
2月	明るい選挙推進大会	明るい選挙の実現のため、推進委員・推進員が一同に会し、大会を開催。
	せんぎょフォーラム	高校生、中学生、明るい選挙推進員の方を対象として、講演会を実施。
3月	桜まつり	周知用チラシやポスターなどに啓発標語等を掲載し、協議会の名入り“ぼんぼり”を会場の大岡川沿いなどに掲げる。
年間	選挙器材貸出	未来の有権者の選挙への関心を高めるため、生徒会選挙等へ器材を貸出している。

●選挙時啓発事業

選挙名	事業名	事業内容
参院選	街頭啓発「ザ・イコット」	真夏の商店街での啓発活動。啓発用ポケットティッシュを配布した。 実施日：平成22年7月4日 午後1時から4時まで 場 所：弘明寺商店街および横浜橋通商店街 参加者：約80名



▲南まつりの様子

港南区

港南区明るい選挙推進協議会は、本年度も「明るくきれいな選挙の実現」と「区民の積極的な投票参加の促進」を図るため、各種啓発事業を実施しております。

昨年7月に執行された参議院選挙の選挙時啓発では、新たに区内の地区センター・コミュニティハウス・ケアプラザなどに啓発用ポケットティッシュを設置させていただき、施設を利用する幅広い年齢層への啓発活動を行いました。

また、「せんきょフォーラム」事業では今年度から、小学6年生向けに、模擬投票をとおし選挙を楽しみながら分かりやすく学習できる出前授業を行いました。

この他にも、年間を通じて、学校の生徒会選挙に投票器材の貸出しを行なうなどの事業を実施しており、港南区明るい選挙推進協議会は、今後も更なる内容の充実を目指して活動してまいります。

▼ 定例委員会の風景



● 常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
5月	定例委員会	平成21年度の事業報告・決算及び平成22年度の事業計画・予算の審議を行いました。
1月	せんきょフォーラム	次代の有権者である小学生を対象に、模擬投票をとおして選挙に理解・関心を深めてもらうため、出前授業を行いました。
	明るい選挙推進大会	明るくきれいな選挙の実現と投票参加の促進を確認し、今後の協議会活動の結束と推進委員及び推進員の意識向上を図るため、式典及び講演会を開催します。
	啓発普及事業	イベントの参加者向けに、啓発物品を配布し啓発を行います。
通年	明推協だよりの発行	推進委員及び推進員への情報提供を目的に、機関紙「明推協だよりの発行しています。(年2~3回)」
	投票器材の貸し出し	区内学校の生徒会選挙の際に、投票器材を貸し出し、選挙の雰囲気を体験してもらい、若い世代に選挙をより身近に感じてもらう取り組みを行っています。

● 選挙時啓発事業

選挙名	事業名	事業内容
参院選	啓発物品設置による啓発	幅広い年齢層が利用する区内の地区センター・コミュニティハウス・ケアプラザなどに啓発用品のポケットティッシュを設置し、投票を呼びかける啓発活動を行いました。
	電光掲示板による啓発	戸籍課の電光掲示板及び庁舎内自動販売機の電光掲示板を利用して、期日前投票と投票日の周知を行いました。
	公用車による選挙PR	通常業務で使用する車両に、投票日を周知するシールを貼り、あわせて選挙PRテープを走行中に放送して、広く有権者に呼びかけを行いました。



▲ 選挙時啓発の際、地区センターなどに設置した啓発物品

保土ヶ谷区

▼参議院通常選挙街頭啓発



▲ほ도가やバンド・バトル

こんにちは、保土ヶ谷区明るい選挙推進協議会です。
 今年度の常時啓発事業として、10月16日に「ほ도가や区民まつり」において、子ども達とその親に向けてミニ・コンサートを開催。イコットちゃんも登場してほ도가やオリジナル啓発グッズ「イコットちゃんお面」等啓発グッズを配布し、来春の統一地方選挙への参加を呼びかけました。
 11月27日には、保土ヶ谷公会堂において区内中高生を対象とした「ほ도가やバンド・バトル」を保土ヶ谷区青少年指導員協議会と開催しました。
 優勝者の決定を実際の選挙と同じ投票箱・投票用紙を使って、選挙への関心を高めてもらいました。
 12月14日の「保土ヶ谷区明るい選挙推進大会」では、推進委員・推進員の意識高揚を図るとともに、相互の連携を深めました。講師には落語家の林家うん平さんを招き、笑いの中にも真に役立つエピソードを巧みに盛り込んだお話をいただきました。
 2月の「せんきょフォーラム」では、区内の中学校へ出向き将来の有権者となる若者を対象にコントやパフォーマンスを実施して、選挙に対する関心を高めます。
 その他に年間を通して中学校等に投票器材を貸し出し、投票行為に親しんでもらっています。
 今後も「明るい選挙と投票参加」「きれいな選挙の実現」を目指して活動していきます。

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
10月	区民まつりへの参加	子育て世代の若い有権者に向けて、ミニ・コンサートを開催し来春の統一地方選の投票を呼びかけました。
11月	ほ도가やバンド・バトルの共催	区内の中・高生バンドによる演奏を競う催しを、保土ヶ谷区青少年指導員協議会と共催しました。
12月	明るい選挙推進大会	明るい選挙推進に向けて、推進委員・推進員の意識高揚を図りつつ、連携を深めました。
2月	せんきょフォーラム	将来の有権者となる若者を対象とし、区内の中学校へ出向き、生徒達の選挙への関心を高めます。
年間	選挙クイズ大会	保土ヶ谷区明るい選挙推進協議会のイベント開催時に選挙クイズ大会を実施して、有権者に明るい選挙と投票参加を呼びかけます。
	選挙用器材の貸し出し	区内中高校の生徒会等の選挙に器材を貸し出し、投票行為に親しんでもらいます。
年3回	「明推協だより」発行	推進委員・推進員の機関紙を発行します。

●選挙時啓発事業

選挙名	事業名	事業内容
参院選	街頭啓発「ザ・イコット」	保土ヶ谷駅等で乗降客、買い物客に啓発ティッシュを配布しながら投票参加を呼びかけました。 日時：平成22年7月5日（月） 場所：保土ヶ谷・西谷・和田町・天王町駅頭 参加人数：108人

▼「区民まつり」でのミニ・コンサート



▲ほ도가やオリジナル「イコットちゃんお面」

旭 区

旭区明るい選挙推進協議会では、今年も「明るくきれいな選挙の実現」と「区民の投票参加の促進」を図るため、各種事業を実施しています。

七月には恒例の竹製啓発うちわを作製し、参議院選挙の街頭啓発や区内で開催された「道の日キャンペーン」で配布したほか、地域のイベントなどで配布しました。

十月は、「旭区ふれあい区民まつり」に参加し、選挙啓発コーナーを設け、明るい選挙推進協議会をPRしました。十二月には「旭区明るい選挙推進大会・研修会」を開催し、推進員相互の交流を図りました。

二月には「旭せんきょフォーラム」を実施し、未来の有権者である小学生を対象とした模擬投票を行う予定です。

選挙時啓発としては、区内相鉄線2駅周辺において「ザ・イコット」を実施し、投票参加を呼びかけながらポケットティッシュなどの配布を行いました。

「企画検討委員会」では、啓発事業について企画・検討し、イベントでは中心となって運営しています。他にも、年間を通して、学校等に投票器材や選挙運動物品の貸出を行っており、これらの啓発事業を通じて、今後も明るくきれいな選挙の実現に向けて活動していきます。

▼ 旭ふれあい区民まつりの様子



▲ H22年度竹製啓発うちわ



▲ 道の日キャンペーンでの啓発活動

● 常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
7月～	啓発うちわの配布	選挙マスコットキャラクターを掲載した竹製うちわを作製。選挙時啓発や、各自治会町内会等にも配布し、選挙啓発を行った。
8月	道の日キャンペーンへの参加	旭土木事務所主催のキャンペーンに推進員が中心となり参加し、選挙への投票参加の呼びかけを図った。
10月	旭区ふれあい区民まつり	パネル展、アンケート、模擬投票等の選挙啓発コーナーを出店した。
12月	明るい選挙推進大会	推進員の意識向上と推進態勢の充実を図るため、事業説明等を行い、講演会を開催した。 場 所：旭公会堂講堂 参加者：約150名 講演テーマ：「明るい一票 うれしい未来」 講 師：三遊亭 多歌介氏（落語家）
平成23年 1月～2月	旭せんきょフォーラム	未来の有権者である小学生を対象として、身近な話題をテーマにした模擬投票を行い、選挙に対する理解・関心を深める。3校実施予定。
年間	企画検討委員会	明推協事業の実施について、運営方法や新たな啓発活動について企画・検討し、各イベントにおいては中心となり運営を行う。
	生徒会選挙物品及び投票器材の貸出	区内の各学校等に対し、選挙運動用のぼり旗・腕章等の選挙物品及び投票箱・記載台の貸出を行う。

開催月	事業名	事業内容
年3回	イコット通信	推進委員・推進員への情報提供・交流の場を目的とした機関紙「イコット通信」を発行する。年3回。

● 選挙時啓発事業

選挙名	事業名	事業内容
参院選	街頭啓発「ザ・イコット」	各地区の推進員及び選挙管理委員会が、啓発物品を配布しながら投票参加を呼びかけた。 実施日：7月5日（月） 場 所：相鉄鶴ヶ峰駅、二俣川駅 参加者：約35名



▲ 旭区明るい選挙推進大会・講演会



▲ 参院選 街頭啓発「ザ・イコット」

磯子区



▲磯子まつり月間オープニングイベントにて

磯子区明るい選挙推進協議会では、明るくきれいな選挙の実現と投票率の向上を目指し、各種啓発事業を実施しています。

常時啓発では、若年層に向けた啓発事業として、将来の有権者である小・中・高校生を対象に「磯子区を元気にする標語・選挙標語募集事業」を実施し、応募作品の展示会を磯子区総合庁舎1階区民ホールで行ったほか、受賞作品の表彰及び作品を活用した啓発物品の作製を行いました。

7月11日執行の第22回参議院議員通常選挙では、JR根岸駅・新杉田駅において、それぞれ投票参加を呼びかける街頭啓発を、25名の推進員により実施しました。

また、9月26日には、磯子まつり月間オープニングイベントにおいて、啓発物品を配布しながら明るい選挙の推進を呼びかけました。

本年1月28日には、推進員の意識高揚と市民への明るい選挙のさらなる周知を図るため「明るい選挙講演会」を開催する予定です。

このほか、3月には、若年層の投票率向上を図るため、未来の有権者である区内の中学生を対象に「せんきょフォーラム」を開催する予定です。

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
7～1月	磯子区を元気にする標語・選挙標語募集事業	小・中・高校生を対象に「磯子区を元気にする標語・選挙標語」を募集。すべての応募作品を磯子区総合庁舎1階区民ホールにて展示するとともに、受賞作品を選定し表彰を行うほか、作品を活用して啓発物品を作製する。
9月	磯子まつり月間オープニングイベント	啓発物品を配布しながら、明るい選挙の周知活動を行った。 ・会場 磯子区総合庁舎
平成23年1月	明るい選挙講演会	推進員の意識高揚と市民への明るい選挙のさらなる周知を図るため講演会を開催。 ・日時 平成23年1月28日（金）午後2時から ・会場 磯子公会堂 ・講師 橋本 五郎氏（読売新聞特別編集委員）
3月	せんきょフォーラム	若年層の投票率向上を図るため、未来の有権者である区内の中学生を対象に開催。 ・会場 根岸中学校
通年	生徒会選挙支援事業	区内の学校で行われる生徒会選挙に際し、候補者用たすき、選挙管理委員会腕章などの選挙運動用物品や投票箱、記載台などの投票器材の貸出しを行う。
通年	明推協だよりの発行	推進委員・推進員の機関紙を発行。年3回

●選挙時啓発事業

選挙名	事業名	事業内容
参院選	街頭啓発「ザ・イコット」	JR根岸駅・新杉田駅の2駅において、投票参加を呼びかける街頭啓発を行った。 実施日：平成22年7月7日（水） 場所：JR根岸駅・新杉田駅 参加者：25名



▲選挙時啓発「ザ・イコット」新杉田駅にて

金沢区

金沢区明るい選挙推進協議会では、前年度に引き続き、「若い世代に選挙について関心を持っていただくこと」を主な目的として各種啓発事業を企画・実施しています。

今年度は、これまでの事業の継続及び発展に重点を置いて活動を行っています。その一つとして、選挙啓発アニメ「うるまでるびのGO!GO!選挙」のDVD貸出し事業があげられます。この作品は前年度に実施した「明るい選挙親子映画会」で本編作品前に上映したもので、来場した子供達に大人気だったため、今年度から選挙器材貸出しの一環として事業に取り入れられました。内容としては、区内小中学校の授業において本作品を活用し、政治や選挙について学んでいただくものになっています。

また、教育委員会事務局主催で行われた「子どもアドベンチャー2010」の「選挙キャラクターグランプリ」で、金沢区の選挙マスコット「いこあら」が人気投票で第1位になりましたので、さらなるPRのため、今年度もデザインを変え「いこあら」を印刷したウエットティッシュを作成し、10月に実施された「金沢区いきいきフェスタ」の会場で配布し、加えて、現在「横浜ベイサイドマリーナ」でも配布しています。

この他にも区内中学校において「せんきょフォーラム」などを実施する予定です。金沢区は今後もより積極的に啓発活動に取り組んでまいります。

▼街頭啓発「ザ・イコット」の様子



▲区民まつり「いきいきフェスタ」の様子

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
4月	企画検討会	事業活性化を図るため、事務局と当協議会推進員との間で平成21年度事業の振り返り、平成22年度事業の企画検討を行いました。
5月	定例会	平成21年度事業結果及び決算の報告と平成22年度事業計画及び予算案について審議を行いました。
10月	区民まつり(いきいきフェスタ)参加	区民まつりに参加し、来場者に啓発物品の配布を行いました。
1月～2月	明るい選挙クイズ	「広報よこはま」金沢区版に選挙に関するクイズを掲載し、正解者に抽選で記念品を贈呈します。
2月	せんきょフォーラム	将来の有権者である中学生を対象に講演会を開催します。 場所：横浜市立西金沢中学校 講師：倉石 裕子(国際選挙監視要員)
	明るい選挙推進研修会	当協議会推進員の政治意識向上のために講演会及び討論会を開催します。 場所：横浜市立大学 講師：上村 雄彦(横浜市立大学国際総合科学部准教授)
年間	明推協にゆうす	推進委員・推進員の機関紙を発行しています。 (年4回：6月・7月・1月・2月) ・年度事業計画及び結果の報告 ・各種事業の案内 ・選挙結果の報告 等
	選挙器材貸出し	区内学校で行われる、生徒会役員選

開催月	事業名	事業内容
		挙等にも実際の選挙器材を貸出しています。平成22年度から選挙啓発アニメのDVDも貸出しています。
	横浜ベイサイドマリーナへの啓発物品設置	青年有権者層が集まる横浜ベイサイドマリーナに啓発物品(選挙マスコット「いこあら」入りウエットティッシュ)を設置しています。



●選挙時啓発事業

選挙名	事業名	事業内容
参院選	街頭啓発「ザ・イコット」	推進委員・推進員及び事務局が啓発物品を配布しながら投票日の周知、投票参加の呼びかけを行いました。 実施日：平成22年6月29日(火) 場所：京急電鉄「金沢文庫」駅構内及び駅周辺 参加者：21名

港北 区

港北区明るい選挙推進協議会（明推協）では、区民の方々のより一層の選挙・政治意識の向上が図られるよう様々な事業を行っています。

本年、6～7月には、参議院議員選挙にむけた選挙時啓発を実施し、区内各所において投票への参加を呼びかけました。

また、10月には「港北ふれあいまつり」に今年も推進員の皆様と共に出店し、選挙に関するアンケートを実施しました。

なお、今年はアンケートの内容を選挙に関する意識調査と「期日前投票制度」の周知に重点を置いたものになりました。

そして、学校との連携事業の一つとして投票器材の貸出しを今年も実施しました。実際に選挙で使われる記載台・投票箱を学校での生徒会選挙のために貸し出すことで、生徒に選挙の雰囲気を感じてもらい、投票への関心を高めました。

今年度は年度後半に多くの事業を予定しており、1月には年1度の推進大会とそれに伴う記念講演会を、2月には親子映画会、中学生を対象にしたせんきょフォーラム、その後には統一地方選挙に向けた地区ブロック研修、選挙時啓発などを実施していく予定です。

今後も協議会の推進委員、推進員の皆様との連携を図り推進活動のより良いあり方を考え事業を推進していきます。

街頭啓発「ザ・イコット」の様子▶



▲港北ふれあいまつりでの明推協ブース

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
5月	港北区明るい選挙推進協議会及び地区代表会議	推進委員が参加し、平成21年度の港北区明るい選挙推進協議会の事業報告及び平成22年度の事業計画を審議するため開催しました。地区代表会議においては、ふれあいまつり、地区ブロック別研修、明るい選挙親子映画会などの明推協事業内容について検討を行いました。また、選挙時啓発の協力も呼びかけました。
10月	港北ふれあいまつり	選挙に関するアンケートに回答することで、ゲームに参加できるブースを出店しました。アンケートに選挙に関する知識を載せ、来場者に選挙啓発を行いました。
1月	港北区明るい選挙推進大会および記念講演会	推進員が一堂に会し、きれいな選挙と投票への総参加の実現を目指した推進運動を引き続き展開していくことを確認すると共に記念講演会で政治に関する講演を行います。
2月	港北区明るい選挙親子映画会	子どもに人気の映画を上映し、子どもとその家族を対象に選挙啓発と明推協のPRを行います。
2月	せんきょフォーラム	若年層の選挙への意識を高めるため、区内の中学校に講師を招き、講義していただく「出前」形態のフォーラム事業を実施します。
5月～2月	企画検討委員会	明るい選挙推進運動事業の企画について、推進員の代表の方々による検討会議を行います。

開催月	事業名	事業内容
9月～12月	投票器材貸出し事業	中学校・高等学校の生徒会選挙の際に記載台、投票箱などの器材を貸出し、選挙の雰囲気を感じてもらいたいとします。
2月～3月	地区ブロック研修	政治・選挙や各地区における啓発活動についての意見交換を地区ごとに開催します。また今年度は統一地方選挙に向けてのテーマなどを提供し、選挙啓発に対する意識を高めることも目的の1つにしています。
年4回	港北区イコット通信	明推協の機関誌として年4回発行し、推進員への啓発を図るとともに事業の紹介、報告等を行います。

●選挙時啓発事業

選挙名	事業名	事業内容
参院選	街頭啓発「ザ・イコット」	港北区内の連合町内会の区域ごとに駅前や商店街等を拠点に啓発物品を配布しながら投票参加の呼びかけを行いました。 参加人数：約180人

緑区

緑区明るい選挙推進協議会では、明るくきれいな選挙の推進と投票参加意識の向上を目指して、将来の有権者である若年層に対する啓発を含め、様々な啓発活動に取り組んでいます。

選挙時の啓発にあたっては、推進委員・推進員・選挙管理委員等の協力により、中山駅、鴨居駅、長津田駅、十日市場駅の四駅において、駅頭啓発活動「ザ・イコット」を実施し、投票参加を呼びかけました。

十月に実施された「緑区民まつり」では、動物人気投票を行いました。実際の選挙で使用する投票箱を用いて子どもたちに投票の疑似体験をもらうと同時に、明るい選挙推進協議会の活動を区民にPRしました。

十二月に開催した「子ども映画会」では、映画上映のほか、模擬投票や選挙クイズを行い、家族で楽しみながら選挙について学ぶ機会をもちました。模擬投票では、区民まつりの投票結果を反映させ、人気No.3以内の動物たちが「簡単に出来る良いこと」を提案し、有権者である参加者に投票してもらいました。投票所も本番さながらのレイアウトにし、ゆっくりと投票する時間を作つたため、選挙公報の内容をよく読んで投票してもらうことが出来ました。また、選挙クイズでは、来年度の統一地方選挙や、明推協に関する問題を出し、解説では啓発と明推協のPRを行いました。

そのほか、中学生を対象とした「せんきょフォーラム」や「緑区明るい選挙推進研修会」の開催、イコット通信の発行や各種研修会への参加など、今後も協議会組織の連携を図り、推進活動の活性化と明るい選挙を推進していきます。



▲初めての投票！（緑区民まつり）



▲十日市場駅参加者で集合写真（駅頭啓発）

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
10月17日	緑区民まつり	選挙の仕組み等の展示のほか、実際の選挙で使用する投票箱を用いて動物人気投票を行った。来場者に楽しく投票の体験をもらいながら、啓発物品やチラシを配布し、明推協のPR活動を行った。 会場：四季の森公園
12月18日	子ども映画会	区民まつりの投票結果をふまえた動物人気投票を行い、実際の投票箱と記載台を使用して疑似投票体験を行った。また、子どもにもわかりやすいキッズ啓発パネルの展示や、啓発につながる選挙クイズを行った。 上映作品：「サンタ・バディーズ ～小さな5匹の大冒険～」 会場：緑公会堂
2月14日	せんきょフォーラム	将来の有権者である中学生を対象に、選挙や政治についてのパフォーマンス観賞、模擬選挙会選挙など、楽しみながら学んでもらう生徒参加型のイベントを実施する。
2月24日	明るい選挙推進研修会	明るい選挙の実現と投票参加運動の推進を確認し、今後の協議会活動の結束と、推進委員・推進員の知識向上を図る。
年間	投票器材等の貸出	区内の学校で行われる生徒会等選挙に対し、選挙器材及び選挙用物品の貸出を行う。
年4回	明推協プロジェクト会議	推進員によるプロジェクトメンバーが主体となり、緑区明推協事業の効果的な啓発活動の方策を検討する。

開催月	事業名	事業内容
年4回	イコット通信の発行	推進委員・推進員を対象に、明推協事業の計画や報告等を掲載した機関紙を発行。



▲模擬投票の選挙公報を熱心に見る子どもたち（子ども映画会）

●選挙時啓発事業

選挙名	事業名	事業内容
参院選	駅頭啓発「ザ・イコット」	区選挙管理委員・推進委員及び推進員が参加し、買い物客などでにぎわう区内4駅で啓発物品の配布を行い、選挙の周知と投票参加を呼びかけた。 日時：7月6日（火） 参加者：78人

各区今年度の事業から

青葉区

▼委嘱式における推進委員による事業説明



▲街頭啓発にて「えら坊」と

青葉区明るい選挙推進協議会では、明るくきれいな選挙の実現と投票参加意識の向上を目指して、将来の有権者である若年層を含めた区民への啓発活動を行っております。

6月14日に委嘱式を行い、本年度は163名の推進員が委嘱され、推進委員による講演により、推進員の啓発活動に対する知識の向上を図りました。

11月3日の区民まつりにおいては、来場した区民の皆様に選挙啓発物品を配布し、選挙の参加方法に関するアンケートを実施するとともに、フランクフルトの販売ブースを設け、その場で選挙に関するクイズを出題しました。本年度はAPECが開催されたため、クイズについてもAPEC参加国の選挙制度と日本の選挙制度を比較することで日本の選挙制度をより深く理解していただけるよう工夫しました。

若年層への啓発としては、青葉区において考案された小学校最後のデザート模擬投票によって決める出前授業の「せんきょフォーラム」を区内3つの小学校において実施します。これまでに12月1日の荻子田小学校と1月18日の市ケ尾小学校において実施しました。引き続き、2月16日の榎が丘小学校についても推進委員及び推進員の意見を取り入れながら、より効果的な活動にまいります。

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
6月	推進員委嘱式	区内有志の163名に対して推進員を委嘱し、本年度の協議会の事業計画に関してPRする。
11月	青葉区民まつり	多くの区民が集まる青葉区民まつりに明推協ブースを出展し、選挙クイズを取り入れたフランクフルトの販売・選挙に関するアンケート・展示などを行い、選挙啓発を行う。
通年	企画運営チーム会議	推進員の希望者で構成されたチームにより、明推協事業実施に際して、効果的な実施方法等の検討を行う。
12月～2月	せんきょフォーラム	選挙啓発出前授業として、区内小学校で選挙の出前授業を実施する。
通年	投票器材の貸出	選挙についての理解を深め、親しみを持ってよう、区内の小・中・高校等に投票箱、記載台などを貸し出す。
年2回	エコット通信の発行	明推協の各種事業紹介や報告などを掲載した機関紙を発行する。今年度より、自治会の回覧板等を利用し広く明推協の活動を周知する。
通年	メディアへのPR	啓発事業を実施する際に、メディアへの情報提供を積極的に行い、記事に取り上げてもらうことで効果的な周知に努める。

●選挙時啓発事業

選挙名	事業名	事業内容
参院選	街頭啓発	あざみ野駅構内・青葉台駅構内において各1回実施。二日間で延べ91名の推進委員・推進員の参加があり、区民にポケットティッシュを配布しながら選挙参加を呼び掛けました。当日は青葉区の明るい選挙マスコットの「えら坊」も駆けつけ、にぎわいました。



▲区民まつりにおけるアンケート活動

都 筑 区

都筑区は、6月に明るい選挙推進大会を行い、「投票することの大切さ」をテーマとした短編映画「空気」を上映して、啓発活動の重要性について研修を実施しました。

また、地区協議会活動をアピール出来るよう、昨年引き続き選挙啓発用「のぼり旗」を購入し、運動会や祭りなどにあわせて明推協のPRや投票参加の呼びかけに力を入れました。

7月の参議院議員通常選挙では、区役所と「ちらぼーと横浜」で、期日前投票所の運営に携わりました。商業施設内で期日前投票が可能であり、全国的にも注目される結果となりました。また各地域でも駅頭や地域イベントで投票参加を呼びかけるなど、啓発活動に取り組みました。

11月の区民まつりではパネルによる「選挙クイズ」や選挙マスコットの「イコットちゃん」とじゃんけん大会を行い、子ども連れの有権者に大人気でした。

この他にも「未来の有権者育成事業」として区内の小学校、中学校及び高等学校への投票器材の貸し出しを実施したり、ホームページにより明推協活動の広報を行っています。

これからも地域に密着した啓発活動を展開することで、着実な成果を上げていきたいと考えています。



▲ 明るい選挙推進大会

● 常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
4月28日	都筑区明るい選挙推進協議会会議	平成21年度の事業報告及び決算と平成22年度事業計画を決定しました。
6月2日	明るい選挙推進大会	明るい選挙の実現及び投票参加を推進するため、「投票することの大切さ」をテーマとした短編映画「空気」を上映しました。 参加者120人
11月3日	投票にイコット（区民まつり参加啓発）	都筑区民まつりにおいて明推協のコーナーを設け、イコットぬいぐるみとのじゃんけんゲーム、「選挙啓発パネル」による選挙クイズなどを通じて、選挙啓発及び明推協のPRを行いました。 場所 都筑区役所周辺
1月予定	都筑区せんきょフォーラム（兼推進委員・推進員研修会）	東京都立白鷗高等学校 河合 敦氏を講師としてお招きして、投票率の向上に向けた啓発推進の糸口を探るフォーラムを開催する予定です。
通年	「明推協だより」の発行	都筑区連合町内会に「明推協だより」の回覧を依頼し、より多くの人に明推協の活動をアピールする予定です。
通年	未来の有権者育成事業	選挙についての理解を深めるため、区内小、中学校及び高等学校に選挙運動用たすき、のぼり旗、腕章、投票箱、記載台などの貸出しを行っています。
通年	明推協PR事業	ホームページの更新、ジョイントPR等を通じて明推協のPRをしています。

● 選挙時啓発事業

選挙名	事業名	事業内容
参院選	地区啓発活動	プラカードや啓発グッズを配布し、選挙の周知と投票参加を呼びかけました。
	期日前投票所運営	期日前投票所の投票管理者・投票立会人となり、投票率向上に努めました。



▲ 区民まつりでのじゃんけん大会

戸塚区

▼ 学生との意見交換会の様子



▲ 東戸塚駅での街頭啓発の様子

戸塚区明るい選挙推進協議会は、明るい選挙の実現と区民の積極的な投票参加を目指し、15人の推進委員と37人の推進員が、区民まつり、講演会、映画会、広報の4つの部会に分かれ、月に一度のペースで会合を開きながら、様々な啓発事業に取り組んでいます。

11月3日の戸塚ふれあい区民まつりでは、選挙クイズやイコットちゃんとの撮影会を実施しました。

また、12月11日には明治学院大学の中谷美穂先生と学生を招き、選挙啓発講演会を開催しました。中谷先生による講演と、学生と参加者の意見交換会の二部構成で開催し、昨今の低投票率とその改善方法について、若者と推進員の間で活発な意見交換が行われました。

その他、12月26日には子育てで忙しく、投票率が低いといわれるヤングミセスを対象に映画会を開催し、啓発グッズを配布しました。あわせて選挙に関する川柳コンテストを実施し、作品を会場内に掲示したほか、映画の幕間に優秀作品を紹介しました。

選挙時啓発活動としては、7月に行われた参議院議員通常選挙において、戸塚区選挙管理委員会と連携し、戸塚駅等で街頭啓発『ザ・イコット』を実施しました。

今後も推進委員、推進員が力を合わせて、啓発効果の高まる内容を検討し、自主的な啓発活動を実施していきます。

● 常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
通年	明るい選挙ライブラリー事業	選挙啓発に関する教育器材を揃えてライブラリーを整備し、推進員の出身団体の会合で、身近な生活の話題から政治や選挙について意見交換しあう活動に対し、ビデオや冊子等の教育器材を貸し出す。
通年	『未来の有権者』育成事業	区内中学校を対象に、生徒会選挙等で、より実際に近い選挙を体験してもらうため、投票箱や記載台等、器材の貸出しを行う。
11月	戸塚ふれあい区民まつり	来場者に対して、啓発グッズを配布し、明推協活動の紹介と選挙クイズ、イコットちゃんとの記念撮影を行った。 ☆日時 11月3日 ☆場所 東戸塚小学校
	せんきょフォーラム事業	政治や選挙の大切さを体験し、考えてもらうため、大正中学校の全校生徒を対象に、笑学塾による選挙コントと模擬投票を実施した。 ☆日時 11月22日 ☆場所 大正中学校
12月	選挙啓発講演会	明推協運動の意義及び意識の高揚を図るため、推進委員及び推進員の出身団体を対象に、講演会及び、学生との意見交換会を実施した。 ☆日時 12月11日 ☆場所 戸塚区役所 ☆講師 明治学院大学 中谷 美穂 先生

開催月	事業名	事業内容
12月	とつかイコット映画会事業	来場者に対して、明推協活動の紹介とイコットちゃんとの記念撮影を実施。啓発物品を配布する。 ☆日時 12月26日 ☆場所 戸塚公会堂 ☆作品 『ティンカー・ベル』
6月、10月、12月、3月	明推協通信	推進委員・推進員を対象に明推協の機関誌を発行。年4回。

区民まつりで
イコットちゃんとパチリ▶



● 選挙時啓発事業

選挙名	事業名	事業内容
参院選	街頭啓発「ザ・イコット」	乗降客で賑わう戸塚駅前および東戸塚駅前で、啓発ティッシュを配布し、積極的な投票参加を呼びかけた。 ☆実施日・場所・参加者数 ①7月5日・東戸塚駅・10名 ②7月8日・戸塚駅・14名
	公用車での啓発	業務で使用する公用車に啓発ステッカーを貼るとともに、広報テープを流し、選挙期日の周知と投票参加を呼びかけた。 ☆日時 7月5日～7月11日 ☆場所 区内全域

栄区



▲ 栄区民まつり似顔絵コーナー

栄区明るい選挙推進協議会では、きれいな選挙の実現と、区民の政治意識の高揚、投票総参加を目指して、様々な事業を実施しています。常時啓発活動として、6月4日に「明るい選挙推進大会」を開催しました。第一部では、栄区明るい選挙推進協議会の平成22年度事業計画の説明等を行い、第二部では、神奈川新聞社論説委員会副主幹兼編集委員林義亮氏に「参議院選挙を展望する」と題して記念講演をしていただきました。参議院選挙を1か月後に控えての政権や政治の現状分析・今後の動向等を分かりやすく解説していただきました。推進委員及び推進員の意識の高揚を図ることができ、有意義な大会となりました。

また、7月の参議院選挙では、選管委員、推進委員、推進員が一丸となって、街頭啓発「ザ・イコット」を実施し、区民に投票参加を呼びかけました。その結果、高い投票率に貢献することができました。さらに、10月には栄区民まつりに参加し、似顔絵コーナー等を開設しました。

また、2月には施設見学会を兼ねた研修会を実施し、政治と選挙について学習するとともに、推進員相互の連携を強めます。

このほか、将来の有権者である中学生を対象とした「せんきよフォーラム」を2月に実施する予定です。

事業計画、事業報告については、いずれも「イコット通信」(年3回発行)で推進員へ情報提供を行い、参加意識の高揚を図っています。

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
6月4日	明るい選挙推進大会	平成22年度事業計画の説明及び講演会。 講演テーマ：参議院選挙を展望する 講師：林 義亮 氏 参加者：73人
11月6日	栄区民まつり明るい選挙啓発事業	栄区民まつりに栄区明推協として参加し、来場者に似顔絵を描いてプレゼントすると同時に、啓発物品の配布やクイズを行い、区民の政治意識の高揚、棄権防止やきれいな選挙、明るい選挙の実現など選挙啓発活動を実施した。
2月	推進委員・推進員研修事業	施設見学会を兼ねた研修会を実施し、推進委員・推進員の意識の高揚と明るい選挙推進運動の前進を図る。
2月(予定)	せんきよフォーラム事業	将来の有権者である中学生を対象に講演会を実施し、自分の将来等について考えてもらうことで選挙や政治に対する関心を高める。
年間	投票器材の貸出	区内の学校の生徒会役員等の選挙に際し、投票器材の貸出を行う。
年3回	イコット通信の発行	推進委員・推進員の連携を図るための機関紙を発行。年3回

●選挙時啓発事業

選挙名	事業名	事業内容
参院選	街頭啓発「ザ・イコット」	1：実施日 (1)7月3日(土) (2)7月4日(日) 2：場所 本郷台駅前広場 3：実施内容 プラカード、広報テープ、啓発物品等を使用して、投票参加を呼びかけた。 4：参加者 57人



▲ 明るい選挙推進大会 第2部

各区今年度の事業から

泉区

▼ せんきょフォーラムの模擬投票 (20年度)



▲ 明るい選挙講演会 (20年度)

泉区明るい選挙推進協議会では、明るくきれいな選挙の実現と投票参加意識の向上をめざして、将来の有権者である若年層に向けた啓発を含め、さまざまな啓発活動に取り組んでいます。

7月に執行された参議院議員選挙では、区内中学校から「中学生ボランティア」を募り、街頭啓発「ザ・イコット」で推進員と一緒に街頭啓発に参加してもらいました。

また将来の有権者に向けた啓発事業としては、今年で20年目を迎える中学3年生を対象にした民主主義と選挙のクイズ「あと5年」の配布や、生徒会選挙等への投票器材等の貸出し事業に加え、毎年好評な小学校6年生を対象にした、選挙のレクチャーと模擬投票の体験学習を併せた出前授業「せんきょスクール」も、せんきょフォーラム事業として引き続き行っていきます。

他にも、区内で行われるイベント等での啓発物品の配布、明るい選挙講演会の開催など、現在の有権者に向けた啓発活動も実施していきます。

● 常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
1月	民主主義と選挙のクイズ「あと5年」	中学校3年生を対象に、社会科副教材「あと5年」を基にしたクイズを出題し、解答する過程を通じて、民主主義と選挙の基礎知識の普及を図る。通算20回目。
12月～2月	せんきょフォーラム	区内小学校を訪問し、6年生を対象に選挙のレクチャーと模擬投票の体験学習を併せた出前授業「せんきょスクール」を行う。(8校で実施予定。)
3月	明るい選挙講演会	推進員・区民を対象に、政治や選挙についての講演会を開催する。
年6回	明推協だより	推進委員、推進員向けに事業計画や報告等を掲載した機関紙を発行する。
年間	投票器材の貸出	区内の学校で行われる生徒会選挙等に際して、投票器材を貸し出す。また要望がある場合は職員が出向いて、選挙の進め方を説明する。

● 選挙時啓発事業

選挙名	事業名	事業内容
市議補選 (泉区)	街頭啓発「ザ・イコット」	立場駅・いずみ野駅の計2箇所を実施。延べ22名が参加しました。
参院選・市議補選 (泉区)	街頭啓発「ザ・イコット」	立場駅・中田駅・いずみ中央駅・いずみ野駅・緑園都市駅の計5箇所を実施。区内4校から集まった中学生ボランティア64名を含めた延べ82名が参加しました。



▲ 参院選での街頭啓発「ザ・イコット」

瀬谷区

▼三ツ境駅でのザ・イコット参加者の集合写真



▲瀬谷フェスティバルの様子

瀬谷区明るい選挙推進協議会では、明るくきれいな選挙の実現と区民の投票参加の促進を目指して各種啓発活動を行っています。

常時啓発活動では、若年層向け啓発事業として、区内小中学校等を対象に生徒会選挙のために投票器材の貸出しを実施しています。

8月には「明るい選挙こども映画会」を開催し、上映後、映画に登場した好きなキャラクターに投票する模擬投票を行い、親子で選挙への関心を高める機会としました。3月には、区内中学校において「せんきょフォーラム」を開催し、経験豊富な講師の講演を聞くことにより、中学生に選挙を意識する機会としてもらいます。

また、10月の「瀬谷フェスティバル」において、明るい選挙推進協議会のブースを出店し、選挙パネルの展示、選挙クイズの実施など、広く区民へ明るくきれいな選挙の推進及び投票参加についての啓発を行いました。1月には、「推進員研修会」を開催し、政治・選挙関連施設の見学と意見交換を行い、推進員の交流を図りました。今後は、「一般区民を対象とした「選挙啓発講演会」の開催とともに、「明るくきれいな選挙推進大会」により推進委員・推進員のさらなる意識高揚を図り、より一層の明るくきれいな選挙の推進に取り組んでいきます。

選挙時啓発活動では、7月の参議院議員通常選挙の際に、三ツ境駅、瀬谷駅、商店街等を中心に街頭啓発「ザ・イコット」を実施し、啓発物品を配布しながら投票参加を呼びかけました。

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
8月	明るい選挙こども映画会の開催	区内の幼児、児童とその保護者を対象に開催し、映画上映後に本物の投票箱を用いた模擬投票を実施した。 上映：ディズニー映画「カールじいさんの空飛ぶ家」 会場：瀬谷公会堂 参加者数：446人
10月	瀬谷フェスティバルへの参加	「瀬谷フェスティバル」に明推協ブースを出店し、啓発活動を実施した。 会場：上瀬谷通信施設はらっぱ
1月	推進員を対象とした研修会の実施	政治・選挙関連施設の見学と意見交換を行う研修会を実施し、選挙に関する理解を深め、推進員の交流を図った。
2月予定	明るい選挙推進大会及び選挙啓発講演会の開催	明るくきれいな選挙の推進について推進委員・推進員の意識を高めるとともに、講演会を実施して区民の政治・選挙への理解を深める。
3月予定	せんきょフォーラムの開催	中学生を対象に政治・選挙への関心を高めるための講演会を開催する。
通年	投票器材の貸出し	選挙への理解を深めるため、区内小中学校等に投票箱や記載台等の貸出しを行っている。
通年	イコット通信の発行	推進委員・推進員の機関紙を発行している。 発行回数：年3回

●選挙時啓発事業

選挙名	事業名	事業内容
参院選	街頭啓発「ザ・イコット」の実施	駅頭、商店街ほか各地区で、啓発物品を配布し、投票参加の呼びかけを行った。 活動場所：三ツ境駅、瀬谷駅、区内全域 活動回数：14回 参加人数：271人
	電子掲示板による広報	区役所の電子掲示板で投票日を広報。



▲映画会での模擬投票の様子

横浜市 今年度の事業から

●横浜市明るい選挙推進協議会事業

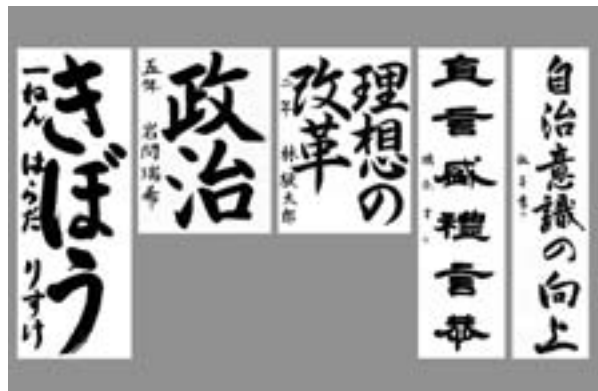
事業名	内容	備考
研修事業	区明推協委員・推進員を対象とした明るい選挙推進研修会の開催を通じて、推進員の意識高揚を図りました。	リーダー研修会 日時：11月29日(月) 会場：ウィリング横浜
未来の有権者及び若年層向け啓発事業	未来の有権者の意識啓発を図るため、小学校、中学校、高校の生徒会役員選挙への支援、また、若者グループ等の若年層啓発事業を支援します。	1 生徒会選挙、出前授業等支援物品の作成 2 若年層啓発活動支援
(財)明るい選挙推進協会連携事業及び市・区明推協連携事業	(財)明るい選挙推進協会が主催する事業に参加。また、区明推協の常時啓発でその内容において共催することが望ましい事業を共同で実施し、市民に明るい選挙の推進を訴えます。	1 (財)明るい選挙推進協議会連携事業 (1)各種ブロック研修 2 市・区明推協連携事業 (1)区明推協活動助成等
白バラよこはま (No.41) 発行	市及び区で実施する各種啓発事業紹介、寄附禁止等を掲載した機関誌を作成し、市・区明るい選挙推進大会等で関係者に配布します。	3,000部

●横浜市選挙管理委員会 常時啓発事業

事業名	内容	備考
新有権者ダイレクトメール	新有権者にとって必要な選挙の知識などを掲載し、また、若者の生活様式と感覚に即した情報を盛り込んだ冊子を作成し、新有権者全員にダイレクトメールで送付しました。	発送対象者： 新成人約33,000人 発送時期：12月上旬
成人の日を祝うつどい	「成人の日を祝うつどい」会場内での選挙権の重要性を訴えるメッセージやオーロラビジョンによる放映、横断幕を掲出するなどして、新有権者に選挙の重要性や投票参加を訴えました。	実施：1月10日(月・祝) 会場：横浜アリーナ 対象：約30,000人
生徒への啓発教材配布	市内中学校の3年生全員に、政治や選挙の大切さをわかりやすく説明した社会科副教材「あと5年」を配布します。	実施：4月 中学校に配送 約30,000人
ホームページ等各種メディアを活用した啓発	選挙管理委員会ホームページや、各種メディアを活用し、特に若年層に向けて、選挙や政治の大切さ等をテーマとした情報を発信します。	実施：通年
せんぎょフォーラムの実施	身近な問題について考え、話し合うことで、選挙・政治への関心を高めるきっかけ作りとなる学習講座(フォーラム事業)を各区で実施します。	実施：通年 会場：各区(学校等)
選挙書道コンクール	きれいな選挙や投票参加を呼びかける標語等を題材とした書道作品の募集及び展示を通して、将来の有権者である青少年を中心に啓発しました。	募集：7月～9月 展示：12月
啓発パネル掲出	きれいな選挙と投票参加を呼びかけるパネルを地下鉄各駅に掲出しています。	地下鉄改札口付近 31駅35枚(通年)
明るい選挙推進大会開催の後援	市・区明推協関係者が一堂に会し、日頃の活動の体験交流や研修を実施し、きれいな選挙と投票参加の推進を確認する推進大会の開催を支援します。	日時：1月20日(木) 開場：横浜文化体育館
明推協自主事業及び組織強化のための補助	市及び各区明るい選挙推進協議会が地域の特性に合わせて実施するイベント等の各種事業及び明るい選挙推進協議会組織強化のための活動に対して補助を行います。	



▲「横浜はたちブック」2011



▲「選挙書道コンクール 金賞受賞作品」(平成22年度)

平成22年
7月11日執行

参議院議員通常選挙・市議会議員(泉区)補欠選挙 啓発事業実績

昨年7月、参議院議員通常選挙、市議会議員(泉区)補欠選挙が行われました。

告示期間中、市内公共機関・駅前・大学等にポスターや看板・横断幕などを掲出し、また街頭啓発「ザ・イコット」、積極的な投票参加ときれいな選挙を呼びかけました。

全市の統一デザインは、港をイメージした夏らしい青色をベースにし、イコットちゃんの絵柄と共に「投票」参加を促すデザインとしました。

今回の参議院議員通常選挙は、56.65%の投票率でした。



バスフロント幕



市庁舎横断幕

実施項目	数量	内容		
看板・幕・ポスター類	看板・横断幕・懸垂幕	約70枚 市営地下鉄横浜駅・関内駅など主要駅、市・区庁舎、歩道橋(みなとみらい動く歩道入口)、主要商店街、大学等に看板・横断幕・懸垂幕を設置		
	ポスター掲出	約24,000枚 市営地下鉄各駅、自治会町内会掲示板、市・区庁舎等公共機関、郵便局、商店街等に掲出(県選管作成ポスターを活用、泉区内は市選管作成)		
	公営ポスター掲示場を利用した啓発	4,712箇所 選挙運動用ポスター掲示場を活用し、投票日・時間の案内を表示		
移動型広報・広告	バスフロント幕	約2,100枚 バスのフロントに啓発幕を掲出 市営 約1,000台 民営 約1,100台(県選管で実施)		
	ゴミ収集車	約750台 巡回中に投票日・期日前投票制度周知、投票参加の呼びかけを放送		
	公用車	約100台 18区の公用車を活用して投票参加の呼びかけを放送		
	港務艇	4隻 港湾局所有の船舶に横断幕を掲出		
各世帯印刷物	「投票のご案内」同封用啓発チラシ	約170万枚 全世帯に発送		
	広報よこはま区版	約150万部 全世帯に配布		
	選挙公報	約170万部 ページ余白に投票日・時間、期日前投票の案内を表示。全世帯に配布		
広報・放送等	市広報番組	各1回 「ずばり! 横濱」(テレビ神奈川) 「ヨコハマ・オンリーワン」(ラジオ日本) 「ヨコハマ・アラウンド」(FMヨコハマ)		
	市区庁舎、商店街等での啓発放送	随時 市・区庁舎、店舗内(横浜駅西口・東口商店街等)などで投票参加の呼びかけを放送		
	電光掲示板	随時 市営バス・地下鉄電光案内板、区役所戸籍課窓口電光掲示板		
	文字放送	随時 TVKデジタル放送(データ放送)		
大学での啓発	大学の構内、フェンス等に幕、看板を掲出	市内大学 投票参加を呼びかける幕、看板を掲出 大学が管理するホームページに啓発広告を掲載		
	大学のホームページへのPRバナー掲載			
選管ホームページ	選挙案内ページの作成	随時 選挙の情報(投票日、投票所、期日前・不在者投票方法等)を集約したページを作成。投・開票速報を掲載(県選管ページとリンク)		
	モバイル対応選挙案内ページの作成	随時 選挙の情報(投票日、期日前・不在者投票方法等)を集約したページを作成		
イベント	街頭啓発「ザ・イコット」	18区 各区地域などを単位として数人のグループを編成し、区内の主要繁華街、駅頭などでの街頭啓発と、それぞれの場所を起点とした場所を移動しながら投票参加を呼びかける。		
啓発物品・資材	ポケットティッシュ	約217,000個	各区街頭啓発等での投票参加の呼びかけに活用	
	プラカード	約280本		
	既製の活用	イコットマスコット(卓上用)	約1,600個	区役所、地区センターなど市民利用施設の窓口に設置
		イコットぬいぐるみ(着ぐるみ)	19体	市及び各区1体
		イコットパンチング人形	37体	市1体、各区2体

横浜市 明るい選挙推進リーダー研修会 開催



平成二十二年一月二十九日(月)、横浜市福祉保健交流センターウィング横浜港南区上大岡を会場に、「横浜市明るい選挙リーダー研修会」が行われました。

参加者は、各区の明推協推進委員・推進員三十四名。主催者である横浜市明るい選挙推進協議会会長の浅井正美会長の挨拶に続き、「明推協組織の活性化に向けて」と意識調査結果から」というタイトルで、明治学院大学法学部専任講師、横浜市明るい選挙推進協議会推進委員 中谷美穂氏による基調講演が行われました。

講演では、昨年度実施しました明推協推進員等の意識調査の分析結果をスライドを使用して分かりやすく説明していただきました。

その後、イコットプロジェクトメンバーの楠正巴氏、古山沙織氏、真野織江氏からイコットプロジェクトの活動報告が行われました。

活動報告では、大学祭での模擬投票や市議市区補選・参院選での街頭啓発の実施等の活動状況、イコットの活動目的など力強く話していただきました。

その後、参加者は各区選管書記も加わり六十二名がグループに分かれ、昼食を挟んで約三時間、討議を行いました。

討議には、「『明るい選挙推進協議会』組織の活性化と推進員の役割、効果的な選挙啓発活動とは?」を共通テーマとして、

- (1) 推進員の役割と明推協組織の活性化を図るには?
- (2) (区や地域での具体的な方法、活動内容等について)
- (3) 若年層をターゲットとした効果的な啓発とは?
- (4) 統一地方選挙に向けて、選挙時の効果的な啓発活動とは?

について話し合い、次のような意見が出ました。

(1) 推進員の役割と明推協組織の活性化を図るには? (区や地域での具体的な方法、活動内容等について)

- ・明推協の活動内容をもっと分かりやすく伝えてもらうことができる方や、また知り合いがいれば、活動に参加するきっかけがつかみやすい。
- ・区内の推進員を小グループに分け、グループごとに活動内容を決め、事務局側から伝えていけば役割が分かりやすくなりいいのではないかと。
- ・横浜市全体で推進員は多数いるので、明推協の活動イメージを分かりやすくするために、全員を対象に映画会のような企画を行うとよいのではないかと。
- ・選挙の際、投票所の立会人を推進員が行う。
- ・明推協で劇団を作って「選挙ドラマ」等をし、学校を巡回する。
- ・イコット通信等で「推進員の紹介」をしている区もある。紹介により、モチベーションが上がることもある。
- ・せんきょフォーラム等にも推進員も参加し、地域に根ざしたものにしよう。
- ・他都市の明推協の活動を視察すればより自分たちの活動が活性化するのはないか。
- ・身近なところ(地域の運動会、地域活動拠点、お祭りなど)で、その場に合わせた啓発物品や声掛けをして、啓発活動するのも効果的。
- ・推進員に着任した際、どのような形で参加すればよいか理解できるように、新任者向けに研修会等を開催する。
- ・啓発活動等に新しいアイデアを持っている若者を推進員に入れる。
- ・区事務局が学校への出前授業等により啓発を行っているが、事務局だけではなく、推進員が講師となるような研修の場を設けてはどうか。
- ・研修会等をもっと開催して、お互いが顔を合わせる機会を増やすことが大切。
- ・月に一度程度推進員が集まり定例会を開催する、部会に所属してもらうなどし、役割を明確にすることが大切。

(2) 若年層をターゲットとした効果的な啓発とは?

- ・現在の選挙啓発活動では主に小中学校が対象になっているが、高校・大学が手薄になっているイメージがある。高校に対して講演会等を行うなど、その層にもっと働きかける必要があるのではないかと。
- ・若年層は、自分にとって価値を見出せないものについて関心が薄いが、自ら価値を見出したものについては熱心であると感じる。仕事等で忙しくても「投票に行こう」と思ってもらうことが必要。
- ・小学生対象の「デザート選挙」や中学生対象の「投票器材貸出」「あと5年の配布」等、実際に選挙の投票を体験してみることが大切だと考える。

(3) 統一地方選挙に向けて、選挙時の効果的な啓発活動とは?

- ・大学生に対し、選挙時の「立会人」の経験等をさせる(大学生にとっては自己PRとしても使える)。
- ・自治会で推進員に二十代の人を就任してもらえることが望ましい。そうすれば、地域に興味を持ってもらうきっかけになり、選挙に対する認識も高まると考えられる。
- ・区民祭りでの模擬投票、小中学校での模擬投票が多く見られるが、あと二三年で投票権を得るような高校生に模擬投票を行ってもらうことも有効なのではないか。
- ・自治会の回覧物に啓発チラシを混ぜる。
- ・啓発物品のティッシュはインパクト重視で文字は今のより大きく少なめにした方がよい。
- ・ティッシュを配る人数は多めのほうがよい。一箇所ですべて大人数を配ることも効果的。
- ・啓発物品(ティッシュ)は、他と比べて目立つデザインにしたり、文具(ファイル等)の日常的に使用したりしてもよいと思う。
- ・対象や地域の特性を考えて適切な啓発が必要であり、一人暮らしのアパート(ワンルームマンション)が多い地域には郵便受けに入れるのも効果的ではないか。
- ・投票率の悪いところは、チラシのポスティングを行ったり、有名人を呼んで啓発活動を行ったりする。
- ・ティッシュ配りの時にコーヒーや温泉の素なども一緒に配り、有権者の気を引くことも良いのではないかと。
- ・イコットちゃん選挙というイメージ作りのために、マスコットグッズを作成し、ティッシュの代わりに配布してはどうか。
- ・啓発活動には、子供や女性が多く参加したほうが良い。特に女性同士は口コミで情報が広がりやすいので啓発効果があると思われる。

その他

- ・選挙結果(投票率)を区連会や地域に出し、地域の人に結果から啓発活動に結び付けていくことができれば、いいのではないかと(例えば、区内で投票率ナンバー1の地域には表彰などし、競争意識を啓発に結びつけ、できるだけ啓発活動がすぐに目に見える形となるのがよい)。
- ・選挙時の啓発をティッシュ配りとする区、なにも啓発をしない区、その他の方法で啓発を行う区という3つに分け、啓発効果の分析をしてみるのはいかがでしょうか。

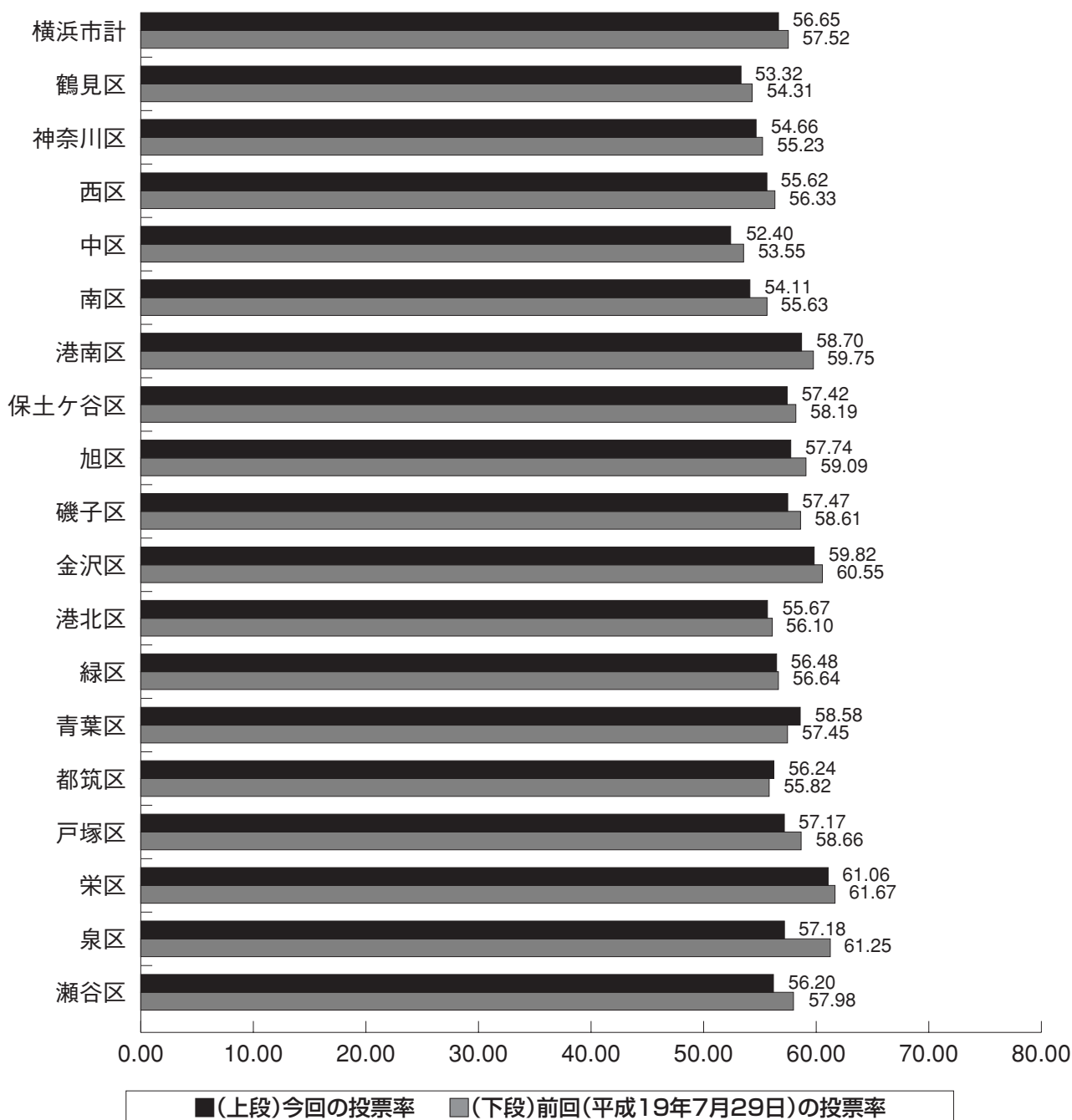
グループ討議の後、各グループ代表者から話し合われた内容について発表していただき、最後に「イコットちゃん修了証」が授与されました。

平成22年6月6日執行
市議会議員(泉区)補欠選挙

投票率	前回投票率 (H19.4.8)
32.61%	51.56%

平成22年7月11日執行
参議院議員通常選挙(選挙区)・市議会議員(泉区)補欠選挙

<行政区別投票率(%)>



《投票率上位3区》

- ①栄区(61.06%) ②金沢区(59.82%) ③港南区(58.70%)

市議会議員(泉区)補欠選挙

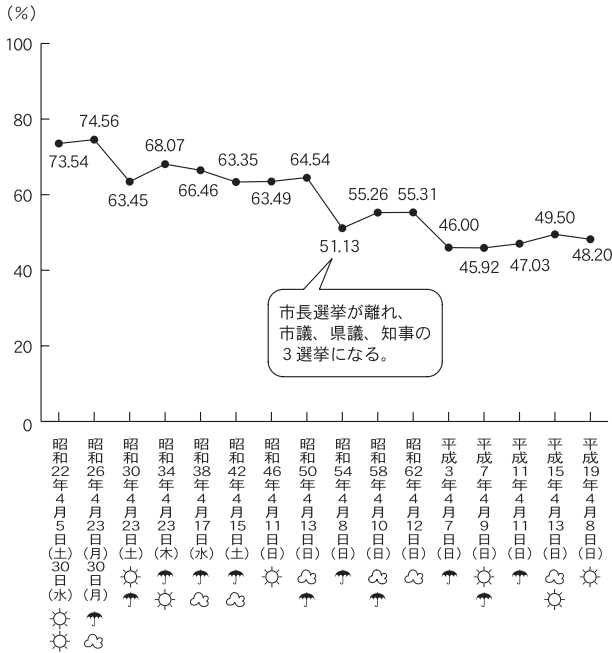
投票率	前回投票率 (H22.6.6)
56.38%	32.61%

各選挙における投票率

つぎの4つのグラフは、各選挙における横浜市の投票率のグラフです。
最近低下しつづけていた投票率が、上向きに転じているものもありますが、
全国的に低下傾向にある投票率は、横浜市も例外ではありません。
今後も明るい選挙の活動を推進していきましょう。

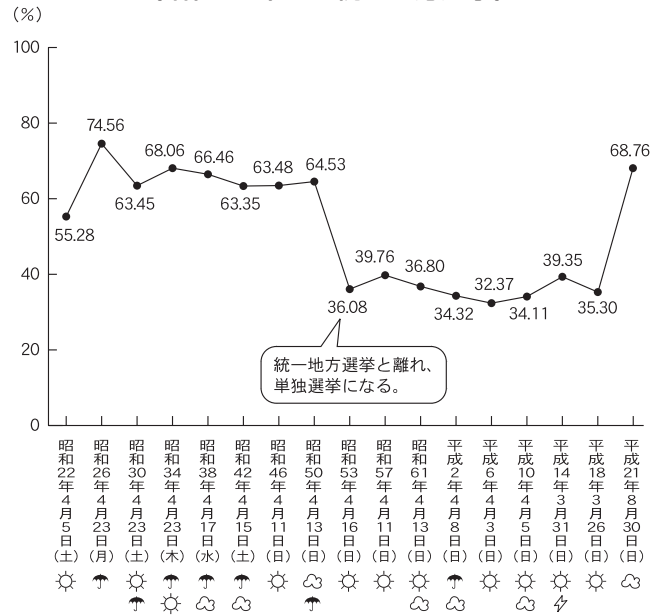
統一地方選挙

(数値は市議会選挙のもの)



市長選挙

(昭和50年まで統一地方選挙)

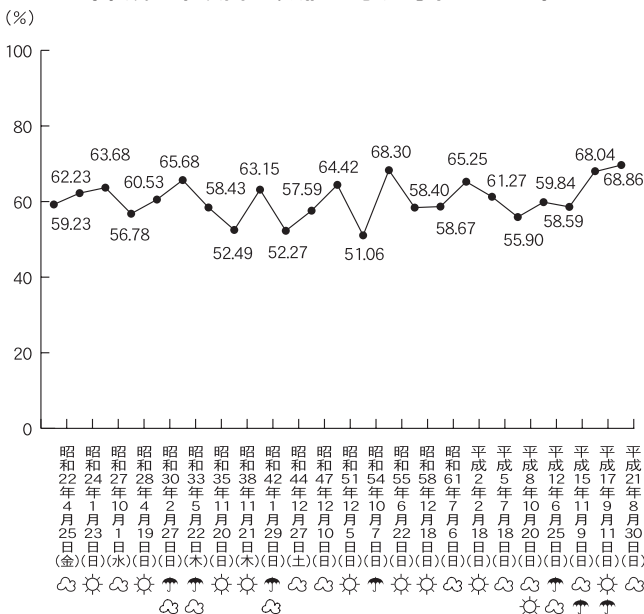


注) 第一回統一地方選挙 市長・県知事選挙
昭和22年4月5日 市議会・市長選挙
4月30日 市議会・県議会選挙

第二回統一地方選挙 市議会・市長選挙
昭和26年4月23日 県議会・県知事選挙
4月30日

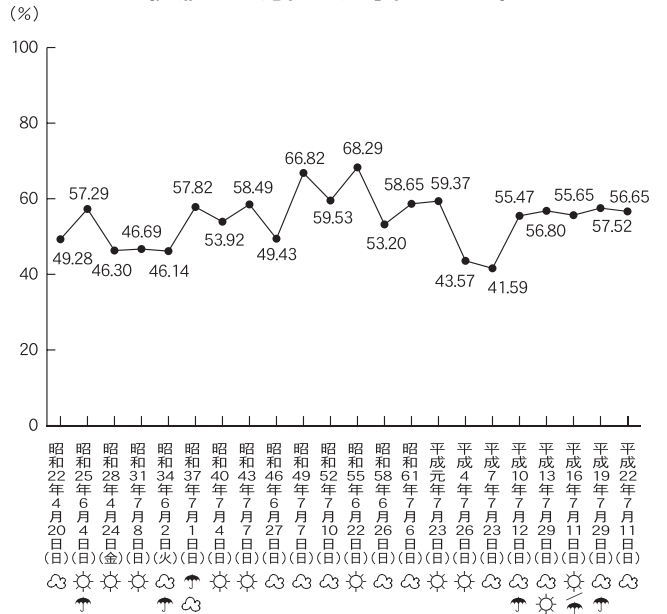
衆議院選挙

(平成8年以降の数値は小選挙区のもの)



参議院選挙

(数値は地方区・選挙区のもの)



横浜市選挙管理委員会では、
若い人に選挙への関心を高めてもらうため、

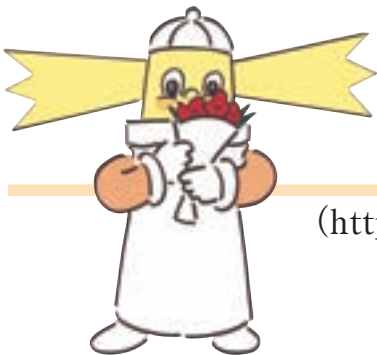
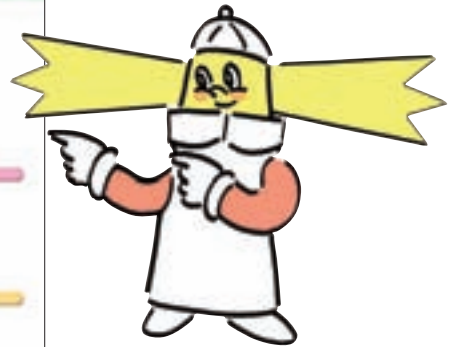
中・高校生向けの

「U-20 (<http://www.city.yokohama.jp/me/senkan/u20/>)」など

ホームページ上

<http://www.city.yokohama.jp/me/senkan/> で

様々な啓発しています。



また、楽しく選挙に
関心をもってもらえるよう、

携帯ホームページ

(<http://www.city.yokohama.jp/y/sk/>) では

「クイズ! 選挙王」を開設し、
楽しみながら選挙を
学べるようにしています。



平成23年4月10日(日)は「統一地方選挙(市会・県会・知事)」です。
あなたの大切な1票、必ず投票しましょう!!